

■小原鉄心 藩政家・勤王家。幕末に凶作と洪水による大垣藩の財政危機を克服し、藩論まとめて新政府に帰順。

おはらてっしん

杉田玄白没・1817＝ 大垣藩世臣小原忠行の長男に生まれる。

水野忠成老中1818＝ 1歳：

・・・・・・1826＝ 9歳：

富籤流行・・1830＝13歳：藩主戸田氏庸にお目見えし、

鼠小僧磔・・1832＝15歳：江戸出張中の父が死去、

高島砲術・・1834＝17歳：母も病死するが、

滑稽+人情本 1835＝18歳：

大塩平八郎乱1837＝20歳：

壮時津藩の斎藤拙堂に師事して経史を学び、詩文に長じ、経世の才があった。

諸役を経て、

天保改革弾圧1842＝25歳：_家督を相続して、城代となる。

天保改革終・1844＝27歳：

阿部正弘首座1845＝28歳：

孝明天皇・・1846＝29歳：_藩主の招きで大垣に来た禅僧雪爪に参禅して大きな影響を受け、

藩の子弟を薫陶して衆望があった。天保大飢饉と揖斐川洪水で藩財政が危機に陥り、

国定忠治磔・1850＝33歳：_藩主戸田氏正の命により、財政改革を担当、

万次郎帰国・1852＝35歳：_災害を受けた農民に米を貸し与えて救済するなどしながら、

ペリー来航・1853＝36歳：_*ほぼ成功させる。ペリーの浦賀に来航するや、幕命により江戸芝藩邸を警固し、

開国開港・・1854＝37歳：_再航に際し、支族浦賀奉行戸田氏栄の請いにより藩士を率いて浦賀に出張。ペリー初航以来海外の形勢に留意し、幕臣下曾根金三郎の門に入って砲術を究め、また佐久間象山・高島秋帆・大槻磐溪に師事し、

安政大地震・1855＝38歳：_*藩に兵制改革を建議して用いられる。

この間、藩の文人墨客を集めた{咬菜社}をつくって、詩書に励み、別荘{無何有荘}をつくって、多くの人たちと天下国家を論じる。

桜田門外変・1860＝43歳：

生麦事件・・1862＝45歳：

8月18日政変 1863＝46歳：_<八月十八日の政変>には藩主氏彬に従って宮門を守衛し、

禁門の変・・1864＝47歳：_*長州藩兵が禁門を犯すや、福原越後の兵を迎撃して破った。

明治維新・・1868＝51歳：

*朝廷に召されて参与に任じたが、たまたま大垣藩兵は旧幕軍に従って京都に進撃し、子息忠迫もその中にあり、使者を馳せてこれを止めようとしたが及ばず、鳥羽・伏見の開戦となり、藩主氏共は入京を禁止された。急ぎ帰藩、氏共に大義を説いて上京を勧めて罪を待たせ、爾後藩兵を出して戊辰戦争に従軍させ、一藩を謝罪勤王の方向に導き、よく順逆を誤ることなからしめた。ついで会計事務掛・会計事務局判事・会計官判事を歴任、新貨鑄造の廟議に参画し、また江戸府判事を兼ねたが、病により職を辞し、功をもって朝廷より鑑一具を賜わる。

戊辰戦争終・1869＝52歳：版籍奉還後、大垣藩大参事に任じ、

廃藩置県・・1871＝54歳：本保県権知事に転じたが、いまだ任に赴かないうち免ぜられ、大垣藩庁出仕を仰せ付けられ、

学問のすすめ1872＝55歳：_没した。